

7月定例記者会見 会見録

令和4年（2022年）7月12日（火） 11:00～11:30 庁議室

質疑応答

■つくばスーパーサイエンスシティ構想キックオフイベント・構想体験会の開催について

記者A

展示物は、15日のイベントと16日の体験会いずれも展示されるのでしょうか。

スマートシティ戦略課

展示物は15日の午後と16日に展示しております。

記者A

つくば市のものとしてインターネット投票とロボット体験コーナーというのがあるのですが、主な目玉と、どのような内容なのか概要を教えてくださいませんか。

スマートシティ戦略課

今回は、インターネット投票も当然目玉になるのですが、その他にスーパーサイエンスシティ構想の中で提案させていただいている、デジタルツインに関連するようなイメージを掴んでいただくために、VRなどを使った体験できるものがいくつかございます。例えば、KDDI株式会社の次世代スマートグラスシューティング、XR マネキン、XR Door。また、凸版印刷株式会社の文化財防災VR、メタバース関連の展示などです。16日には、モビリティの搭乗も体験していただけますので、そちらも目玉の一つとっております。

記者A

インターネット投票では、どんなことが体験できるのでしょうか。

スマートシティ戦略課

本当の投票ではないのですが、スマートフォン上でいくつか選択肢がありまして、それを選んでいただくと、何に投票したか画面に出て分かるという体験ができるものです。

記者A

詳しい内容の資料をイベント開催の前にいただけませんか。

スマートシティ戦略課

後ほど資料を共有させていただきます。

記者A

スーパーサイエンスシティの具体例となる第1弾というのは、いつ頃に何がという目処は立っているのでしょうか。

スマートシティ戦略課

これから国と調整になりますが、今後、区域会議というものが事業者と大臣と首長で作られます。その中で区域計画を作成いたします。その作成によってスケジュールが決まりますので、まだ具体的にいつ何をという目処は立っていません。

■マイナンバーカード紛失について

記者B

5月にマイナンバーカードを紛失するという事案があって、6月に庁舎内で発見されたと思います。発見されたとき、警察に相談中ということだったと思うのですが、その後の対応、例えば被害届を出すとか、方針はどうなったのかお聞かせ願います。

総務部長

その後、警察に被害届を出しまして、関係者の事情聴取等が行われています。あとは警察でのこれからの捜査の行く末を見守ることになります。

記者B

被害届を提出したということですが、いつ頃提出されたのですか。

総務部長

6月8日の水曜日です。

記者B

市でも色々とマイナンバーカードの活用を推進している中で起こった事案で、市の管理責任も大きいと思うのですが、そのあたりについて市長から今後の再発防止策などを教えていただけないでしょうか。

市長

当然これは重大な事案だと思っております。マイナンバーカードを扱う際には、様々なルールを作って管理をしていますが、今回の原因は、まだ警察の捜査の途中ですので、想像で物を言うのは控えたいと思います。今回の捜査の結果を踏まえて、必要な対策をとっていきたいと考えています。

記者B

特に管理体制を強化することは今のところ考えていないということでしょうか。

総務部長

具体的には市民部市民窓口課の対応になるかと思うのですが、総務部も相談を受けていまして、在庫管理の徹底ということで、改めて市民窓口課内で注意喚起を行っておりますし、管理体制もチェックをより厳しくすると聞いております。特に一番重要な案件でございますので、細心の注意を払って今後も取り扱うようにします。

■洞峰公園について

記者 C

7月2日の説明会での、参加者の意見に対する市長の受け止めと、先週の金曜日の記者会見での知事のコメントに対する市長の受け止めをお聞かせください。

市長

様々な意見が出ていたと把握をしております。これまで県に対して伝えてきた内容も説明会の中で市民の方からも出ていたな、という印象を持っております。知事の発言というよりは、説明会を合計4回やっていただくことになってはいますが、この説明会が終わり、さらにアンケート結果が出たらアンケートデータも含めて共有をしていただいて、その後、方向性を考えるという約束を県としております。私としては、是非多くの方に説明会に出席していただき、アンケートに回答していただくことによって、様々な形の市民の声、利用者の声を届けていただきたいということが、今の段階では申し上げられることと思っております。

記者 C

市民の声は、大まかに言うと「今のまま変えて欲しくない」ということだったと思いますが、それに対して知事は「周りの住民、市民だけということではなく、県民のため」ということを強調していて、インターネットで記事を少し読んだだけなのですが、強行するように思えました。それに対して市長はどのように受け止めていらっしゃるのでしょうか。

市長

今お話をしたとおり、この説明会とアンケート結果を踏まえて今後について話し合いをするということにしていますので、どの部分をもって「強行」とおっしゃっているのか分かりませんが、私はそのようには受け取ってはおりません。

記者 D

市長ご自身7月2日はいらっしゃいましたか。

市長

いいえ、参加しておりません。

記者 D

質疑応答の内容は承知されていますか。

市長

承知しております。

記者 D

10人以上の市民が色々な意見をおっしゃったのですが、どんな感想をお持ちになりましたか。

市長

先ほどお答えしたとおりでして、これまで市がお伝えしているような懸念も含めて、市民からも同じような発言があったと感じております。

記者 D

この前の知事会見で、知事は、「反対という方は会場内にいらっしゃいましたが、明確な理由はあまりなかったと報告を受けております。」とおっしゃっていました。県の事務方がどのような報告をしたか知りませんが、私も明確な理由がなかったとは思いませんでした。そのあたりどうですか。

市長

そのあたりは県の解釈であったり、知事の発言ですので、私あまりコメントすることではないと思っております。私は、これまで市に届いている意見も含めて、同じような様々な発言が出ている印象を持ちました。

記者 D

明確な理由はあったということでしょうか。

市長

重要なことは4回の説明会を通じて、様々な意見が出されて、そしてアンケートを8月中に行って、その上で県と市で一緒に考えましょうということですので、中間段階では、個別の発言に対して私が論評するというのは、適切ではないと思っております。

記者 C

南側駐車場の拡張のことですが、市長は「駐車場については認める」とおっしゃっていたのですが、7月2日の説明会では、参加者の間から、駐車場の木を切ることに對する大きな懸念が出ていたと思います。それに対してはいかがでしょうか。

市長

私は、駐車場について課題があるということは認識をしていますが、「駐車場について認める」と言った記憶はありません。実際に今渋滞をしていて課題があるということとは確かだと思っております。ただ、その課題に対してどうするかということについては、今は何も決まっているものではありませんので、先ほどの繰り返しになりますが、様々な環境への懸念等も含め今後話し合っていく内容だと思っております。

■つくば市長のリコールについて

記者 E

高エネ研の南側の土地と絡んで、リコールのための署名活動をする動きが始まったのはご承知だと思いますが、それに対してコメント等があればいただきたいと思います。

市長

あまり詳しく請求内容の把握をしていないのでコメントは避けたいと思いますが、一般論としてリコールというのは、地方自治法で規定されている民主主義の制度の一つであり、当然市民の権利として実施されるわけですので、それ自体に対して、あまり私がコメントするものではないと思っています。

終了